



みちのく灯台 150周年

東北における洋式灯台の歴史は、明治9年10月20日に初点灯した尻屋崎灯台（青森県下北郡東通村）にはじまり、令和8年、尻屋崎灯台及び金華山灯台（明治9年11月1日初点灯、宮城県石巻市）が初点灯から150年の節目を迎えます。

これを記念し、以下の関連イベントが実施されます。

○ 灯台ワールドサミット2026 in 東通

灯台ワールドサミットは、灯台が立地する全国の市町村が連携し、灯台を歴史的価値のあるものと捉え積極的な観光資源化を図ることで灯台の活用を促進し、もって歴史的灯台を次世代に引き継ぐことを目的とし、「灯台活用推進市町村全国協議会（志摩市、銚子市、御前崎市、出雲市、男鹿市、東通村）」の加盟自治体により年1回開催されています。

令和8年7月、第6回目となる「灯台ワールドサミット2026 in 東通」が尻屋崎灯台周辺などで開催され、石塚智之海上保安庁交通部長、白崎俊介第二管区海上保安本部長が150周年記念式典やシンポジウムなどに出席しました。



※詳細はコチラ→<https://higashidoori-ws.com/>

（東通村灯台ワールドサミット in 東通）

○ 海上保安庁音楽隊記念コンサート

令和8年の秋、宮城県内において海上保安庁音楽隊により記念コンサートを開催する予定です。

○ 灯台絵画コンテスト2026 尻屋崎灯台・金華山灯台特別賞

灯台絵画コンテストは、（公社）燈光会が毎年開催している全国の小・中学生を対象（小学生低学年の部、小学生高学年の部及び中学生の部）とした絵画コンテストです。

令和８年の灯台絵画コンテスト２０２６では、尻屋埼灯台及び金華山灯台の作品を対象とする２つの周年特別賞が設けられました。



○ 灯台一般公開・特別展

東北各地の灯台の一般公開や、海上保安庁の業務や灯台の役割をパネルや体験型イベントで紹介する特別展や、東北各地の灯台の一般公開を開催する予定です。

東北の灯台をご紹介します！

尻屋埼灯台や金華山灯台のほか、東北には３７３基（令和８年３月３１日現在）の航路標識があります。

このうち、主な灯台の歴史や物語を、画像やテレビ番組等で放映された映像によりご紹介します。

○ [みちのく灯台物語](#)

○ [みちのく灯台紹介映像集](#)